



るもい風土資産カード

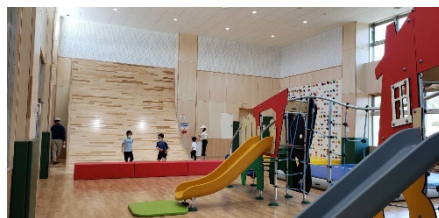
道の駅「るもい」

親子や家族連れも楽しめる
北北海道のゲートウェイ

道の駅「るもい」は、留萌管内7番目の道の駅として令和2年(2020年)7月11日、「るしんふれあいパーク(船場公園)」にオープンしました。同年3月に高規格道路として道内では初めて全線開通路線となった「深川・留萌自動車道」の終着地となる留萌インターチェンジに近接し、また、国道231号、232号、一般国道233号の交通結節点に隣接しており、留萌地域や稚内市を含めた北北海道のゲートウェイとして地域の情報発信を行っています。

また、「《道の駅るもい》船場公園(るしんふれあいパーク)」を代表施設とする「古丹浜ふ頭-10m岸壁」「南岸壁」「黄金岬海浜公園」の4つのエリアは、『みなとオアシスるもい』として、令和2年(2020年)7月26日に道内12番目のみなとオアシスに登録され、観光資源や地域の情報発信、地域住民の交流促進など地域の魅力向上につながる取り組みが行われています。

さらに、親子や家族で時間を過ごせるくつろぎの「空間」と、地元特産品などの「魅力」を発信する道の駅の新たな「交流拠点」として、屋内交流・遊戯施設『ちゃいるも』が令和4年(2022年)4月29日に供用となり、地元ファミリーをはじめ、市外からの交流人口の増加も期待されます。なお、施設内には地場産食材を多く使用したカフェ、地元の特産品などを販売している道の駅のアンテナショップもあり、ゆっくり買い物や休憩ができます。



見どころ

屋内交流・遊戯施設『ちゃいるも』は「親子や家族連れをターゲットとした、遊びの空間の創出」をコンセプトにしており、「バランス感覚」「体力」「想像力」を育み、安心・安全に遊ぶ空間となっています。(利用は予約制となっているため、事前予約をお勧めします。)

ポイント

留萌港や市街地に隣接しており、7.8haの開放的な芝生広場やパークゴルフ場、1周500メートルのジョギングコース、ドッグラン、虹のガーデンなどを整備しています。園内で遊ぶ遊具は幼児から一般用まで様々取り揃え、管理棟で無料で貸し出しています。

五感で感じる！ 風土資産の魅力



聴 JRの留萌本線の始発着駅である留萌駅の背後地であることから、1日7往復始発着列車を間近で見ることがもできます。ディーゼル車両のエンジン音は、ノスタルジックな気分させます。

味 施設に併設されているチャレンジショップでは、地元食材を用いたテイクアウト品を販売していますので、留萌の味覚を気軽に味わうことができます。

知 船場公園敷地は旧国鉄羽幌線などの跡地を買い取り、新たな留萌の顔として整備した公園です。留萌駅～幌延駅間を運行していた旧国鉄羽幌線は、羽幌町の炭鉱閉山などによる沿線の人口減少により、1987年(昭和62年)3月30日に国鉄最後の廃止路線となりました。



■基本情報 (R7.3)

住 所：留萌市船場町2丁目114
T E L：0164-43-1501(るしんふれあいパーク管理棟)
営業時間：9:00～18:00(5月、9月)
9:00～19:00(6月～8月)
9:00～17:00(10月～4月)
※アンテナショップ、チャレンジショップ、カフェの営業時間は公式HPで確認してください。
<https://web.michinoeki-rumoi.info/>
休 館 日：年末年始(12月31日～1月5日)
※トイレは24時間年中利用可能